

計測器の「老舗ベンチャー」が  
安心・安全・信頼を可視提供

## (株)木幡計器製作所

「錨印」ブランドで知られる計測機器メーカー。創業以来、製造するブルドン管圧力計をはじめ各種計測器や制御機器を製造し、造船・船用機器など広い産業分野に販売している。近年は医療機器や、IOT分野の製品開発に挑戦。モノづくりの町・大阪大正から社会の課題解決を目指す。

### ■医療機器・IOTで社会課題を解決

「新たな分野への挑戦は、創業者から受け継ぐ当社のマインド」だと木幡社長は語る。1909年、創業者・木幡

### 社是・理念

- 一、私たちは常によりよい品質の製品とサービス、情報の提供を心掛け、社会に対して信頼され期待される企業を目指します。
- 一、私たちは常にチャレンジと創意工夫の自主的な精神を尊び、明るく前向きで、意欲的な人間集団を目指します。
- 一、私たちは常に互いを尊重し、それぞれの長所を活かし合い、可能性の発揮出来る働き甲斐のある職場作りを目指します。



代表取締役  
木幡 巖氏

久右衛門氏は、家業だった金物製造の鍛冶技術を活用して輸入が大半だったブルドン管圧力計の製造に成功し、製造所を開く。その後、圧力計測技術を応用した圧力スイッチなどの制御機器や、差圧計、圧力式液面計といった製品の開発が歴代社長の指揮下で行われてきた。

2013年に現社長の木幡氏が経営トップに就任。専務時代に、管楽器店からブレストレーニング用の呼気圧計の注文があり製作した。自社ホームページに掲載すると東京大学大学院などの医療系研究機関から呼吸計測器のオーダーが入るようになった。本格的な医療機器開発に向け助成金を申請、採択された。公的支援や人材交流により医工連携が加速した。その後、5年の歳月をかけ、医療機器製造販売業許可と製品認証取得し、18年11月に「呼吸筋力測定器」を上市した。一方で、社長就任時から計測器のIoT化に関する研究開発も開始。16年には、情報処理推進



呼吸筋力測定器



ハイブリッドIoT圧力計

機構（IPA）の「先進的IoTプロジェクト支援事業」に採択され、既存の機械式圧力計の後付けIoT化にも取り組んでいる。木幡社長は「圧力計は機器の安全を見守るためのもの。『圧力』は目に見えず、普段は意識しない。この点で人の呼吸も同じ。先代社長だった母・喜久恵は肺がんで他界した。呼吸器の病気は初期の自覚症状が少なく、発見の時点で重症だった。可視化による早期発見は重要」と説く。今後は医療機器のIoT化など、さまざまな社会課題の解決につながる事業展開を目指している。

18年4月には、IoT・ライフサイエンス分野のベンチャー成長促進拠点「ガレッジ大正」を開設した。愛着ある大正区から、地域活性化の共創型システムづくりを実践する。



## 新たに挑戦し、必要とされ続けること

**機**

械式圧力計は1世紀以上、基本構造が変わらない。取って代わる低コストで正確なものが見つからず、それが明確な長寿の理由だと木幡社長は分析する。「創業者が工業化の時代を見越して圧力計を作ったように、時代に合うものに挑戦することも必要」と続ける。受賞歴が豊富で、近年は大阪商工会議所「大阪活カグランプリ 2018 特別賞」、2018 年末には経済産業省「地域未来牽引企業」に選定されその受け継がれる技術力と時代に合った挑戦が評価されている。



## 会社概要



所在地：大阪市大正区南恩加島 5-8-6

電話番号：06-6552-0545

創業年月：1909年1月

事業内容：圧力計・差圧計・液面計・温度計など計測・制御機器の製造

URL：<https://kobata.co.jp/> <https://garage-taisho.jp/>